



博物館の窓

第111回

学芸員 持田 誠

10月、博物館で「わくわくチャレシ教室 集まれ！化石ハンターズ」が行われた際、子どもたちにもいろいろな化石を、直接触ってもらいました。

すると、アンモナイトに鼻を近づけた子どもたちが、口々に「蕎麦つゆのニオイがする！」と言い始めました。そんな話はこれまで聞いたことがなく、不思議に思っ、その日の夜から全国の化石研究者に問い合わせをかけてみました。

結論は「化石はニオイはせず、まれに埋まっている地層の関係で石油のようなニオイがすることはあるが、蕎麦つゆのニオイはしない。移り香(何かのときに、蕎麦つゆのニオイが化石に付いてしまった)でしょう」とのことでした。

よもや大発見かと思いましたが残念。しかし、子ども達の自由な発想には、いつも驚かされ、こちらが勉強させられます。感謝です。



化石を触る子どもたち。
(十勝うらほろ楽舎上田真弓氏撮影)